

漁海況情報第3報 (2022年6月23日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

水深100mでは142°E付近に親潮系冷水の差し込みが見られます。

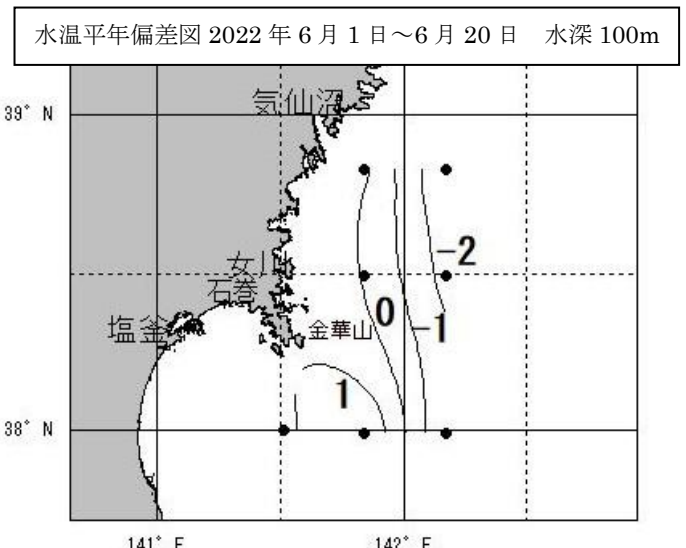
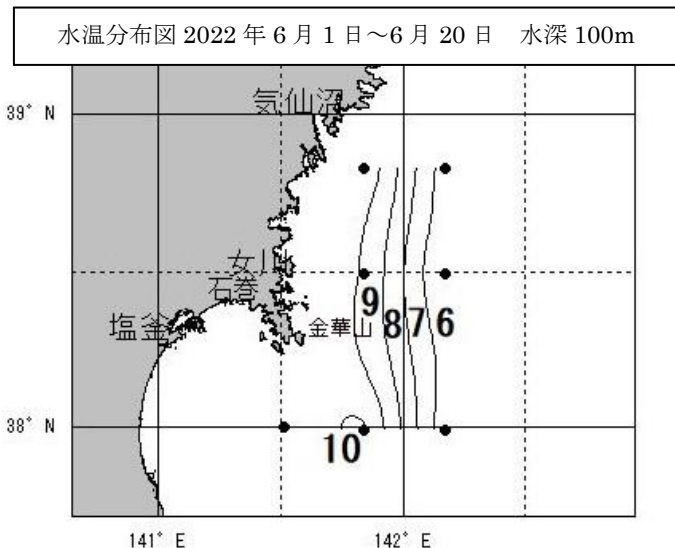
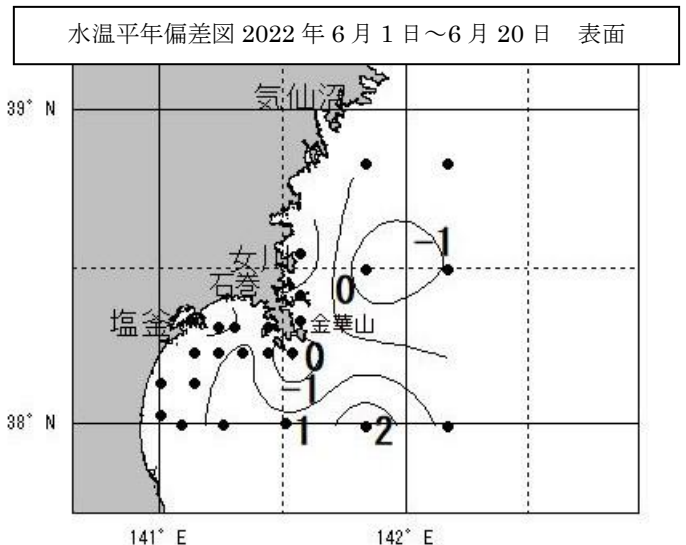
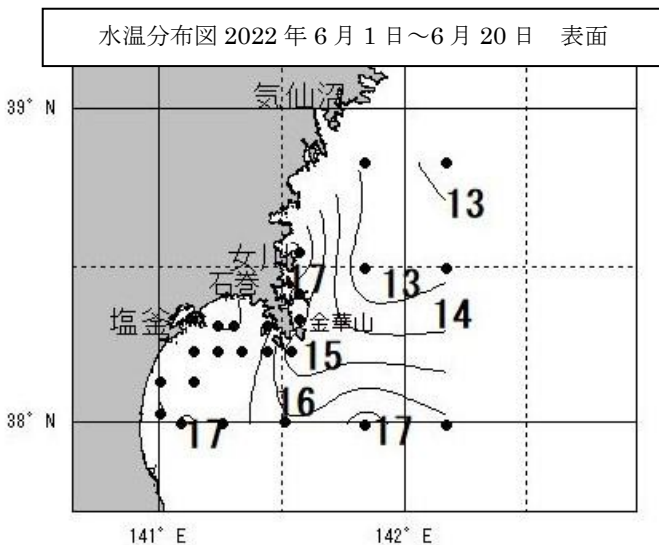
宮城県沿岸の表面水温では12~18℃、100m深水温は5~10℃台となっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図] [P2. 水温鉛直断面図]。水温鉛直では、142°E、水深100m付近に親潮系冷水が差し込み、水温が低くなっているところがあります。[P2. 水温鉛直断面図]

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は、道東沖に北退。常磐沿岸まで南下していた道東沖合の冷水が、常磐から三陸南部沖合に、15℃の冷水域となって一部残っています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

6月中旬の定地水温は15~18℃台で、気仙沼(杉の下)、歌津でやや高め、他の観測点では低めから平年並みとなっています。[P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は5~9℃台となっています。[P3. 海底直上水温図]。

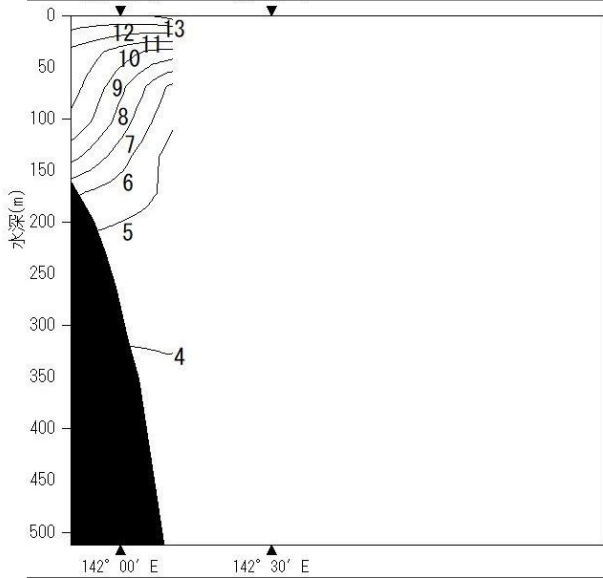
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

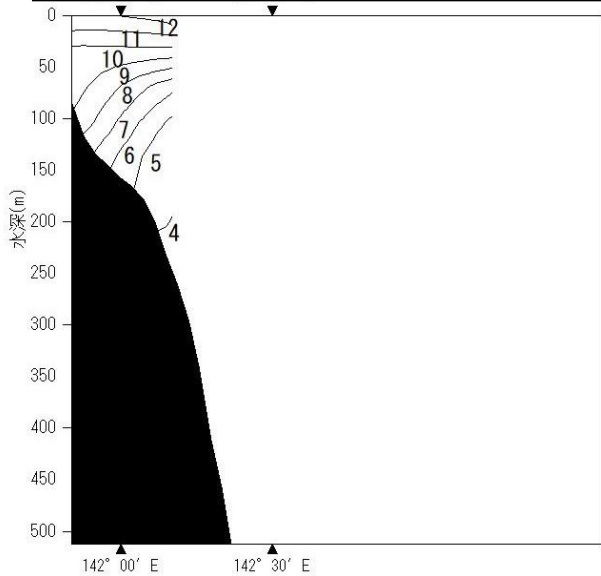


・水温鉛直断面図

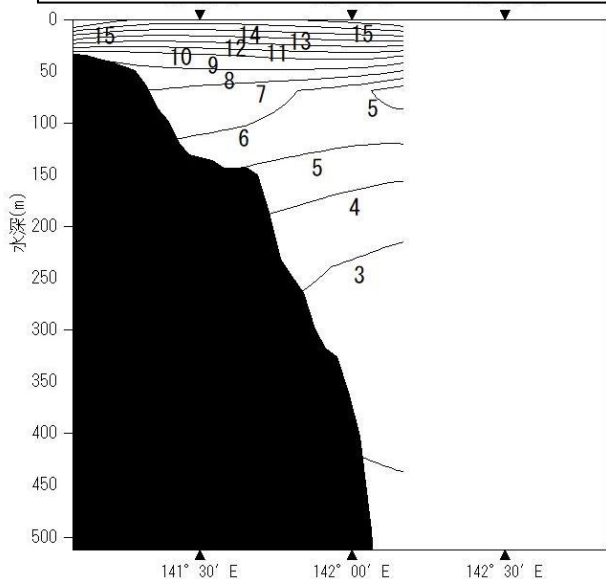
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

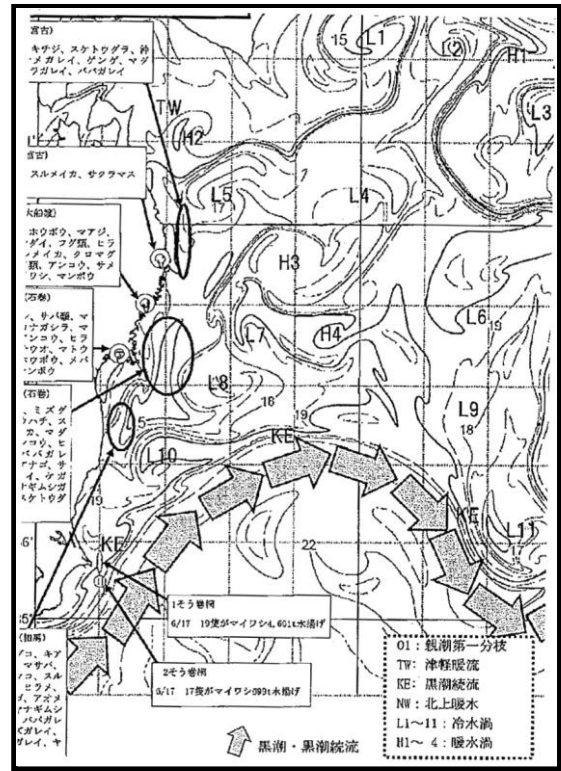


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2022年6月20日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



41° N
39° N
37° N
35° N

141° E 143° E 145° E 147° E

特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

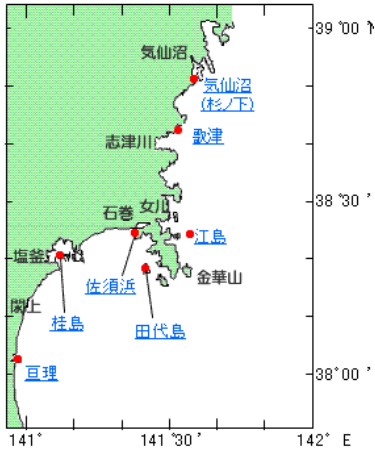
【海況】 (6月20日表面水温)

- ・親潮第一分枝は、道東沖に北退。
- ・津軽暖流は襟裳岬まで張り出し、南下流は黒潮続流暖水波及の北上により岩手県種市で停滞。
- ・黒潮続流は、塩屋崎沖合を東へ流去、その暖水波及は道東沖まで北上し、広く房総から三陸北部沖合を覆う。

【漁況】 (5月17~20日)

- ・巻網：1 そう巻網は19隻がマイワシ4,601t水揚げ、2 そう巻網は17隻がマイワシ699t水揚げ。
- ・定置網：石巻はマイワシとサバ類が主体、大船渡はサバ類が主体の水揚げ。
- ・カツオ竿釣：伊豆諸島海域から日本太平洋沖合海域で延82隻が616t漁獲。
- ・カツオマグロ巻網：日本太平洋沖合海域で操業の延5隻がカツオ主体に128t水揚、房総から福島沖で操業の延6隻がクロマグロ、キメジ、カツオ主体に143t水揚。

・ 定地海洋観測



	6月中旬		平年差	前年差
	値	評価		
気仙沼 (杉ノ下)	16.8	やや高め	1.4	-0.9
歌津	15.9	やや高め	1.1	-1.4
江島	14.6	平年並	-0.1	-1.7
田代島	16.7	やや低め	-0.9	-4.3
佐須浜	16.7	低め	-1.8	-4.7
桂島	18.7	低め	-2.1	-4.1
亶理	18.4	やや低め	-1.3	-2.0

※平年値 = 過去30年

※佐須浜 (過去10年)

※歌津 (平成28年12月から観測再開)

※桂島 (平成24年3月から観測開始)

※亶理 (平成24年10月から観測開始)

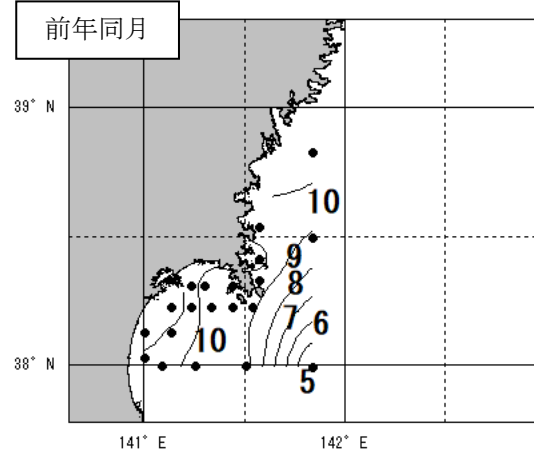
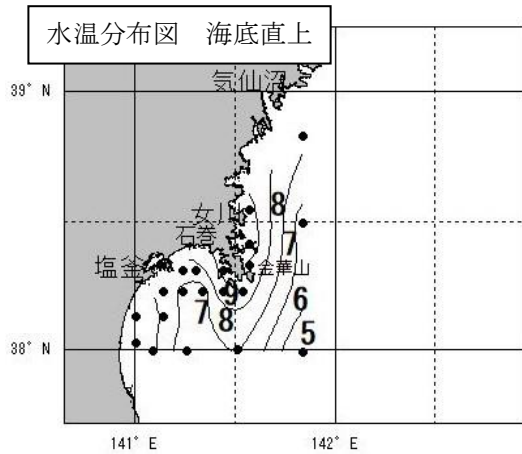
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・ 海底直上水温図

・ 海底直上水温(2022年6月1日～6月20日)

・ 海底直上水温(2021年5月31日～6月10日)

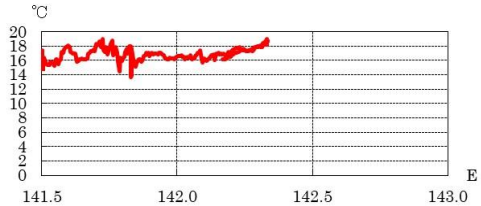
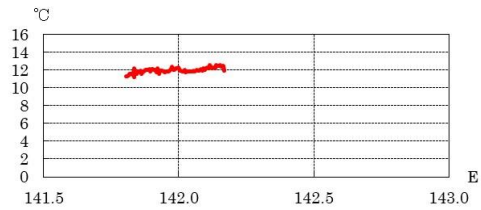
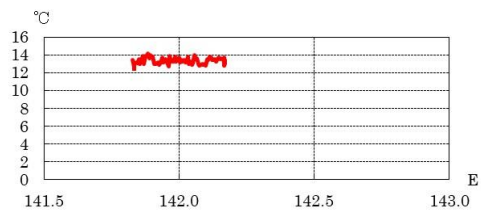
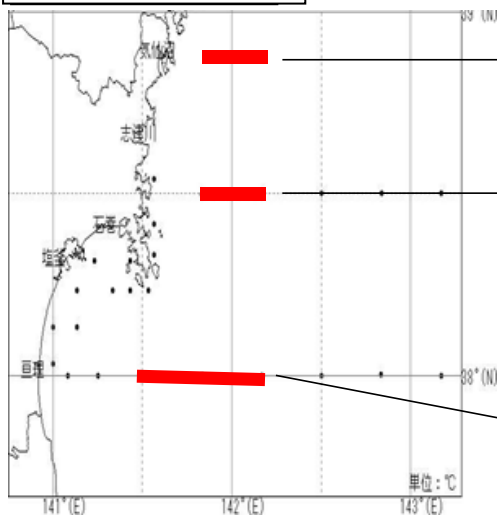


(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

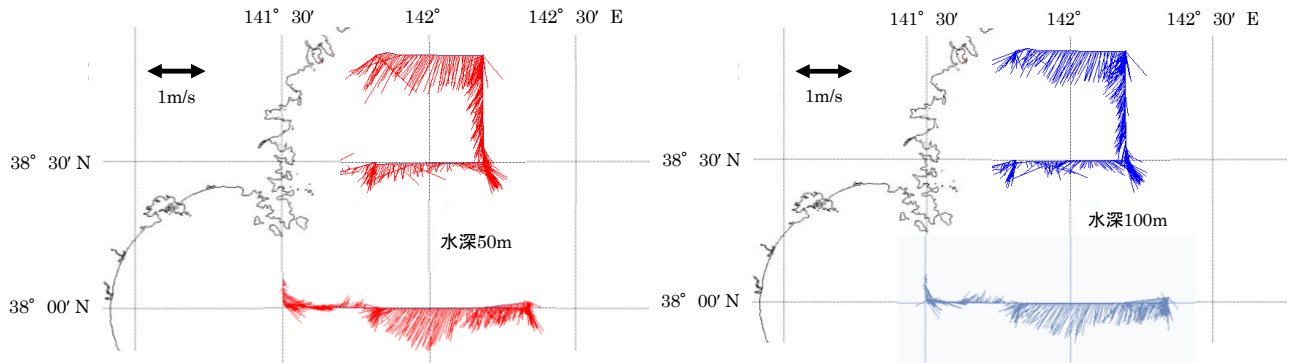
みやしおによる航走表面水温については、次のとおりです。

2022年6月1日～20日



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておられません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

5月の水揚量は前年と比較してサバ類, マコガレイ, サメガレイ, スケトウダラなどが増加しています。ビンナガ, メバチ, スルメイカは減少しています。

(単位: トン)

2022年5月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			100						49		0	149	7%
メバチ		0					0		8		0	8	11%
サバ類	3,628	192				5,433	1				132	9,385	140%
ヒラメ	4	15				1	12				9	42	75%
マコガレイ	0	10				0	9		0		8	27	138%
マガレイ		1					2				0	2	100%
サメカレイ	32	0					0				0	33	202%
ババガレイ	23	1				0	0				2	26	64%
スルメイカ	0	0										0	3%
ヤリイカ	0	2				12					1	15	24%
マイワシ	0	0	1,855			8,251					469	10,575	99%
マダラ	116	14	0			1	16				164	311	90%
スケトウダラ	656	75	0			9	2				35	777	187%
ミズダコ	22	88				0	0				6	116	92%
マダコ		0					0					0	51%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。